

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	保険年金課長	持田浩史
健福-48 国民健康保険高額療養資金貸付事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	保険年金課
総合計画上の位置付け		分野	健康福祉	施策の方針
				市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的		2 平成26年度に実施した事業の概要		
対象	鎌倉市国民健康保険の被保険者の属する世帯	高額療養費該当者で高額な自己負担金の支払いが困難な者に対して、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付を行う制度があるが、申請がなかったため、執行しなかった。		
意図	高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けるため。			
効果	被保険者が高額医療の急な支払いに対応することができる。			

3 事業費等基礎データ					
データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考	
	人口	177,243人	人口		
世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)	
事業の対象者数	0人	事業の対象者数	0人		
当初予算(千円)	100	決算値(千円)	0		
運営資源状況	国県支出金	0	国県支出金	0	
	地方債	0	地方債	0	
	その他	100	その他	0	
	一般財源	0	一般財源	0	
	人員配置数	0.0	人員配置数	0.0	
事業経費運営	人件費(千円)	0	人件費(千円)	0	
	総事業費(千円)	100	総事業費(千円)	0	
	市民1人当りの経費(円)	1	市民1人当りの経費(円)	0	
	対象者1人当りの経費(円)	0	対象者1人当りの経費(円)	0	

4 評価結果 ※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	高額療養費については、制度の改正により、貸付制度を利用する方は近年皆無であり、制度自体の廃止が妥当であるが、貸付金の償還が終わっていない方がおり、その償還を今後どうするかが課題である。
課題解決のために行った平成26年度の取組	貸付者に対する鎌倉市の債権について、債権放棄ができるかどうか、債権管理条例の施行を機会に検討することとした。
未解決の課題 新たな課題	貸付者に対する実態調査を行い、その結果によって債権管理条例に規定する債権放棄の規定に該当するか、確認の上、該当する場合は、債権放棄の手続きと共に鎌倉市高額療養資金貸付条例の廃止に向けた手続きを行う必要がある。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	1. 統合できる
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1. 減少している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	1. 廃止・休止による影響はない
有効性	事業の成果は得られているか	1. 成果は出ておらず、改善が必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	1. 事業の方向性や手法も見直す必要があり、貢献できていない
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input checked="" type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒ <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	⇒ 事業へ統合
	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input checked="" type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	現在、実施されていない事業であり、貸付金が償還されていないため、制度として存続しているが、存続する理由がなくなれば(債権放棄が適正であれば)、事業を廃止し、予算を削減することが妥当であるため。
総評	平成27年度中に高額療養資金貸付条例を廃止し、予算についても削減をしていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の 傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---